

# ◆◆◆◆◆ 地域おこし協力隊活動レポート ◆◆◆◆◆

地域おこし協力隊とは、大都市圏に住んでいた方が、地方に移住し、地域の活性化を図るとともにその地での自立定住を目指す取り組みです。協力隊員の紹介、活動内容等をご紹介します。

vol.25 (担当) 清水 勇多さん

こんにちは！清水勇多です。早いもので、今年9月で地域おこし協力隊としての任期を終えます。任期後も長瀬町で活動できるように、これまで活動してきたWITH RIVERを会社にして事業展開していきます。事業は長瀬町の美しい川や自然を守り未来に繋げることを目的とし、現在オリジナルのボディソープやシャンプーを開発しています。そのまま川に流れても自然に還る自然由来100%の商品です。4月に会社を立ち上げ、商品も発売します。

1/23(月)、WITH RIVERの取組や目的に共感してくれた同世代による会議を実施しました。上場企業のディレクションをするデザイナーや、環境問題に特化したグラフィックデザイナー、写真家やマーケターなど第一線で活躍する人たちや、小川町と横瀬町の地域おこし協力隊の方も



集まり、WITH RIVERに対してさまざまな意見をいただきました。会議の後は、観光×リバークリーンを実施し、上長瀬の川沿いから商店街まで観光を楽しみながら町を美しくしました。

ゴミ問題や環境問題、長瀬町の未来、日本の未来など多くの課題と向き合った一日でした。これらの課題に対して自分たちの世代の価値観と表現の仕方での解決できる何かがあるはず。これから新たに始まるWITH RIVERを応援して頂ければ嬉しいです。これからもよろしくお願い致します！



町HP



フェイスブック

「長瀬町(Nagatoro)」



インスタグラム

「ながとろ」

## 今月のいいとこ長瀬

### 「長瀬町の 火祭り がスキ！」

火祭りの時期になると、そろそろ春だなあと感じます。

(M・Fさん)

#### 「編集者コメント」

毎年3月初旬に、宝登山の山麓で「長瀬火祭り」が行われます。この行事は、古くから秩父地域で行われていた「火祭祈願」を再興したもので、「柴燈大護摩・火渡荒行」ともいわれます。

不動明王の智慧の火により煩惱や穢れを焼き清め、加護をいただくものとされており、全国各地から集まった修験者が大護摩に点火すると、燃えあがる炎と立ちのぼる煙で熱気に包まれます。炎がおさまると、修験者が祈願札を持ち、裸足で護摩の上を渡ります。修験者が渡った後は一般祈願者も参加し、それぞれ一年の宝福招来と開運厄除を祈願しながら火渡りを行います。

昭和53年に第1回の長瀬火祭りが寶登山神社境内で行われて以来、年々盛んになり、秩父路に春を告げる祭りとして定着していきました。昨年は、夏にも長瀬山不動寺境内で、小規模ながら一般の方も参加出来る火渡りが行われました。

火祭りが終わると、桜のつぼみも一回り大きくなり、本格的な観光シーズンの幕開けとなります。

**迫力満点の伝統行事は、長瀬町のいいとこ！**



長瀬山不動寺境内での火渡り



宝登山麓での火渡り

税務会計課・町民課窓口 ※住基ネットを利用した住民票の圧縮交付はできません。  
 ●日曜開庁日 3月26日(日) 午前9時～正午 午後1時～5時  
 ◆納税 ◆戸籍謄本・抄本の交付 ◆住民票の交付  
 ◆印鑑登録、印鑑証明書の交付 ◆マイナンバーカードの交付